

3D都市モデルで地域課題の解決に挑むハッカソン 「PLATEAU CityHack Challenge 2026」一般参加者を募集

自治体職員と参加者が協働し、8月22日のキックオフから9月5日の成果発表まで
地域の課題解決を目指す国土交通省主催のハッカソン

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：垣貫真和）は、国土交通省が推進する「Project PLATEAU（プロジェクトプラトール）」の一環として開催される「PLATEAU CityHack Challenge 2026」の参加者の募集をお知らせします。

「PLATEAU CityHack Challenge 2026」は、3D都市モデルを活用し、参加者と自治体が協働して地域課題の解決に取り組むハッカソンです。課題を提供する自治体担当者とともに解決策を検討し、アイデアをプロトタイプとして形にしていきます。2026年は2回目の開催となります。

3D都市モデルを使った開発に取り組みたい方をはじめ、都市データを地域課題の解決や新たなサービスの創出に生かしたい方など、エンジニア、デザイナー、プランナー、学生、研究者、自治体職員、民間事業者など、幅広い分野の方を対象に参加を募集します。



■「PLATEAU CityHack Challenge 2026」について

地域には、防災、交通、観光、まちづくりなど、それぞれ異なる課題があります。本イベントでは、自治体が提示する課題を起点に、参加者がPLATEAUの3D都市モデルや自身の技術・アイデアを組み合わせ、解決策の企画・開発に取り組みます。国土交通省は、本イベントを地方公共団体と参加者が協働して地域課題の解決を目指すハッカソンと位置付けています。

自治体担当者と直接意見を交わしながら開発を進められることが特徴で、技術開発だけでなく、行政や地域の現場を踏まえた3D都市モデルの活用可能性を検討する機会となります。

■開催概要

イベント名：PLATEAU CityHack Challenge 2026

実施期間：8月22日（土）～9月5日（土）

参加費：無料

参加対象：3D都市モデル、地域課題解決、まちづくりDXなどに関心のある方

主催：国土交通省

運営事務局：株式会社角川アスキー総合研究所

開催方法、スケジュール、参加条件などの詳細は、参加申込ページをご確認ください。

<https://asciistartup.connpass.com/event/399798/>

■イベントの特徴

1. 自治体の地域課題を起点にアイデアを創出

自治体が抱える具体的な地域課題をテーマに、参加者が技術やデータを活用した解決策を検討します。行政現場の課題意識を踏まえ、実装を見据えたアイデア創出を目指します。

2. 3D都市モデルを活用したプロトタイピングに挑戦

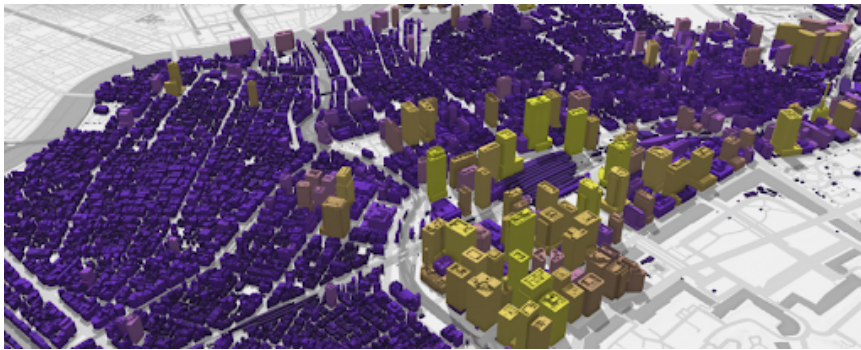
「Project PLATEAU」の3D都市モデルを活用し、アプリケーション、サービス、可視化ツールなどのプロトタイプ開発に取り組みます。都市空間を立体的なデータとして捉え、地域課題の可視化や新たな活用方法を探ります。

3. 多様な参加者による共創

自治体職員と民間事業者、エンジニア、デザイナー、プランナー、学生、研究者などが協働し、それぞれの専門性を生かして地域課題に向き合います。

4. PLATEAUコミュニティとの接点を創出

参加を通じて、3D都市モデルの活用に取り組む開発者、自治体、企業、専門家などをつなぎ、今後の「Project PLATEAU」関連活動や3D都市モデル活用につながる機会を提供します。



■「Project PLATEAU」について

「Project PLATEAU」は、国土交通省がさまざまなプレイヤーと連携して推進する、日本全国の都市デジタルツイン実現プロジェクトです。都市活動のプラットフォームデータとして3D都市モデルを整備し、さまざまな領域でユースケースを開発しています。さらに、誰もが自由に都市のデータを引き出せるよう、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を通じて、まちづくりのDXとオープンイノベーションの創出を推進しています。

公式サイト：<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

■角川アスキー総合研究所の役割

運営するスタートアップ・テクノロジー分野のニュースメディア『ASCII STARTUP』を通じ、国土交通省が推進する「Project PLATEAU」に2020年度のプロジェクト開始当初から携わり、3D都市モデルの活用促進に向けた情報発信やコミュニティ形成支援などに取り組んでいます。

本イベントにおいても、これまでの「Project PLATEAU」関連業務を通じて得た知見と、『ASCII STARTUP』を通じて培った情報発信力、企画設計力、イベント運営ノウハウ、テクノロジー領域のネットワークを生かし、運営事務局として、3D都市モデルの活用促進と、自治体・企業・開発者の共創機会の創出を支援します。

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を生かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、企業・自治体・官公庁など、お客様の課題解決に取り組んでいます。

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com